

日本一活力ある村づくり計画

都道府県名	奈良県	
作成主体名	奈良県、十津川村	
区域の範囲	奈良県吉野郡十津川村の全域	

地域再生計画の概要

村面積の96%が森林である本村では、主要産業である林業が長らく低迷を続けている。村では、新たな取組みとして「源泉かけ流し宣言」を行い温泉を中心としたまちづくりを進めており、村内を縦断する古道が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されたこととあわせ、登山客や観光客が増加しているが、村内の道路は狭いばかりでなく未整備な箇所が多く、村民や観光客の通行に支障をきたしている。そこで、遅れている村道や林道の交通網の整備を進め、地域産業である林業の振興と生活基盤の改善を図り、世界遺産となった熊野参詣道や温泉などの観光資源を生かしながら、豊かな山村づくりを目指す。

適用される支援措置

- ・道整備交付金

世界遺産の熊野参詣道を訪れる観光客



足湯で憩う観光客

